

英語を楽しく

☆知っていたようで知らなかった言葉

- ① 「母国」は英語で、文字通り「mother country」でも、「native country」・「homeland」・「motherland」などとも言います。最近では、「native country」・「homeland」・「home」などを用いることが多いです。故国として「fatherland」という言い方がありますが、母国に比べてなんと数の少ないことか。ちなみに、

「彼女は母国のために死んだ。」
という英文は、

She died for her country.

です。母国を **country** で済ませられるのなら、他の単語はなくてもよかったですのでは？



英語にも同意語がたくさんあるんですね

- ② 「母子家庭」を英語で→「mother and child・・・」という言葉でなくて、「fatherless family」で表現。なるほど、「父のいない家庭」というわけですね。でもなんだか遠まわしの。「父子家庭」は「motherless family」なんでしょうね。

- ③ 薬ではありませんが、健康食品としてよく「サプリメント」と言う言葉のものが市販されていますが、そのサプリメントは「**supplement**=補足」という意味ですね。ですから、何も健康食品に限って使われることばではないわけです。

He is going to **supplement** his report **with** some pictures.

彼は、若干の絵でレポート補うつもりです。

のように使います。

(学校での) 補習=**supplementary lesson** のようにも使います。

- ④ 「ワイルドだぜ！」とよく某タレントが使う言葉ですが、**wild**の意味は、
[形]野生の・<土地が>荒れ果てた・<人などが>荒っぽい・手に負えない などの意味があります・・・。

いつも真面目で後輩思い、英語も得意な春子さんは、校内でも男子の人気者。ある日、彼女はミニスカートで歩いているところを同じ学校の男子に見られ、次の日、その男子から、

“Haruko, I saw you yesterday. You were very wild, weren't you.”

と言われた。それを聞いた春子の友達は、

「なんて失礼なことを言っただけで」すっかり怒った。でも、春子はにっこり。どうして？



実は **wild** には「セクシー (sexy) 華やかで人目を引く」という意味もあるのですね。校内では見られないミニスカートの春子にすっかり感心した男子の一言は、春子への褒め言葉でもあったわけです。(意識)「春子、きのう、君を見たよ。とっても女の子ぽくてすてきだったよ。」

○ **wild** = (パーティーなどが)素敵な・楽しいV(・・に)夢中である

◇ **The gang is really wild.** (あの1団は手がつけられない。)

1英単語に複数の意味 ですね。